



広島市乳幼児教育保育支援センターだより



令和6年度 第3号

乳幼児教育保育支援センターHP

小学校が中心となり、乳幼児教育保育アドバイザー派遣制度を活用して、近隣の幼児教育・保育施設と共に行う幼保小接続の取組をご紹介します。♪♪♪

① 乳幼児教育保育アドバイザー派遣制度を小学校が活用

小学校区内の幼保小接続をより円滑にするため、小学校が乳幼児教育保育アドバイザー（以下「アドバイザー」）の派遣を乳幼児教育保育支援センターへ依頼しました。※ 小学校でもアドバイザー活用は可能です！

乳幼児教育保育
アドバイザー一覧



アドバイザーには、小学校・幼稚園・保育園の元校長先生・園長先生がいますよ！

② 近隣の幼稚園・保育園と視点を共有（授業参観）

アドバイザーと近隣の幼稚園・保育園の先生が、小学校1年生の算数科を通して、小学校教諭の指導方法や1年生児童の様子を参観しました。（写真：Ⅰ）



【写真Ⅰ】

③ アドバイザーと幼稚園・保育園の先生が小学校へ向けて必要となる視点を共有（協議・助言）

1年生の先生が授業後1年生の下校指導をしている間に、アドバイザーが接続期（年長～小学校第1学年）の子どもの特徴や発達等を踏まえ、幼稚園・保育園の先生方へ、小学校入学までに保育に必要な視点等について助言しました。（写真：Ⅱ）



【写真Ⅱ】

④ 小学校、幼稚園、保育園の先生と一緒に子どもの姿を共有（協議・助言）

1年生の先生が下校指導を終えた後は、授業の様子を振り返りながら、子どもの姿を共有するとともに、アドバイザーが接続期の子どもの特徴などを踏まえて、小学校、幼稚園、保育園の先生に助言を行いました。（写真：Ⅲ）



【写真Ⅲ】

今回の取組のまとめ

- 小学校が乳幼児教育保育アドバイザー派遣制度を活用して、近隣の幼稚園・保育園の先生と一緒に幼保小接続の取組を実施しました。
（参加者：小学校長、1年生担任2名、公立幼稚園長、公立保育園長2名、私立保育園年長担任1名）
- 小学校と幼稚園・保育園の両方の先生方にとって、接続期の子どもの特徴や発達、園と小学校での生活の違い、それらを踏まえた子ども理解（児童理解）について共通認識し、学びを深めることができる時間になりました。
- 小学校と園の先生からは、今回参観した授業の様子やアドバイザーの助言を、明日からの保育・授業に生かしていきたいとの前向きな感想をいただきました。



【小学校からの報告】

- ・児童の困り感をどう理解して具体的にどう支援できるのかについて、たくさんの助言をいただいた。
- ・児童の具体的な姿をもとに、すぐにできる支援方法について助言をいただき、できることから取り入れていきたいと思った。
- ・園の先生方に参観していただき、小学校の教育活動の様子を知っていただいたり、アドバイザーの先生から連携の在り方について一緒に話を聞くことで共通理解を図ったりすることができたので良かった。



お問合せ先 広島市乳幼児教育保育支援センター
〒730-8586 広島市中区国泰寺町一丁目6番34号
TEL: (082) 504-2833
FAX: (082) 504-2255

